

令和元年度学校評価及び令和2年度重点課題

1. めざす学校像

【教育方針】	個々の能力を十分に伸ばさせるとともに、品性の高い教養ある人間を育成する。 思いやりのある豊かな心、真理を追究する真摯な心、自己を厳しく律する克己の心を育て、文化国家の担い手にふさわしい人材を育成する。
【教育目標】	豊かな知性、正しい判断力、理解力を養うことを教育の根本とし、将来の目標を達成するために、恵まれた環境を活用してきめ細かい指導を行う。 基本的な生活習慣を身につけるための躰については充分留意、厳しく指導し、あくまでも清楚にして質実健全な校風の高揚につとめる。

2. 中期的目標

1. はじめに

普通科総合選択制・進路別指導により、本人の能力を十分に発揮できる教育を目指す。
多様で個性のある子どもを受け入れることが出来る学校として、その存在感を教職員全体で示していく。
総合選択制の優位性を個々の指導に反映させるとともに教員の意識改革を進める。

2. 普通科総合選択制の更なる充実

- (1) 満足度調査（生徒向けアンケート）の実施
- (2) 基礎学力の底上げと選択科目の充実
- (3) 共通履修科目・TT 授業の拡充
- (4) 個々のニーズと学力向上
- (5) 総合的な学習指導
- (6) 進路別指導、小論文指導、検定学習（漢検）、エリア学習（公開に向けた取り組み）
- (7) ICTを導入した授業展開（すらら等）の充実
- (8) 指導要領改訂に向けて

3. 生徒の規範意識を高め、基本的な生活習慣の確立、服装、頭髪、マナーの向上

- (1) 遅刻指導の徹底
- (2) 定期的な頭髪服装検査の実施
- (3) 登下校中のマナーを意識させる。
- (4) 講習会の実施（薬物、道路交通法、ネット犯罪等）

4. 生徒自身の自主活動を充実させ、自律の精神を養う

- (1) 体育祭、文化祭等の学校行事等の充実
- (2) 部活動の活性化
- (3) 生徒会活動の充実

5. いじめ問題

- (1) いじめ防止基本方針に基づく人権教育の徹底

【普通科総合選択制アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

普通科総合選択制アンケートの結果と分析[令和2年1月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>専科・基礎教養、2年、3年と満足度の差はあまり見られませんが、おおむね2年よりも3年で、また専科よりも基礎教養で満足度が少し高い傾向にある。</p> <p>そのため、3年の基礎教養Ⅲ・Ⅳが比較的満足度が高くなっている。</p> <p>○「選択の基準」にみられる「満足度」</p> <p>「進路」「興味関心」「エリア」および「シラバス」を基準として授業を選択した者は、「満足度」が高い傾向が見られる。特に「シラバス」をよく読んで授業を選択した者はかなり「満足度」が高く、選択履修の際にシラバスを読ませることを指導の観点に入れなければならないことを再認識した。対して「難易度」「友人と同じ」「先生の勧め」「楽しい」を基準として選択した者（前向きな意識が低い傾向）は「満足度」が低い傾向となった。ただし該当生徒は少なく、ほとんどの生徒は「進路」または「興味関心」を基準にして授業を選択している。</p> <p>○「進路を決めた時期」にみられる「満足度」</p> <p>進路を決めた時期が早ければ早いほど「満足度」が高い傾向にある。「1年後半」「2年後半」で「満足度」が下がってしまうのは、選択科目の本調査の時期との関連ではないかと考えられる。</p> <p>なお「3年後半」「まだ」については選択科目全体の満足度がそれぞれ100、35.3となるが、それぞれ該当生徒が2名であるため、統計での比較には適さない。</p> <p>○「進路とエリアの合致」にみられる「満足度」</p> <p>進路とエリアが合致していた者ほど「満足度」が高い結果となった。ただ「あまり合っていないかった」「全然合っていないかった」を選択した者のうち、実際の進路とエリアの不一致はほとんど起こっておらず、土曜エリア学習の欠席者が多いことから、エリア意識が希薄な生徒がその2つを回答しているのではないかと考えられる。</p> <p>○全体を通して</p> <p>アンケートの集計を通して、基本的な傾向は例年通りとなっているように感じている。しかし、「満足度」については、年々上昇傾向になるように感じた。これは総合選択制の定着を意味していると考えられる。そのため、もう一度基本に立ち返って、選択授業の選択の際には「シラバス」「進路」「興味関心」をポイントに選択しなければならないこと、「進路」「エリア」の早期確定が充実した学習のベースになることを確認したい。</p>	<p>*「選択の基準」にみられる「進路」「興味関心」「エリア」および「シラバス」を基準として授業を選択するよう日頃から取り組まれている教職員の努力が浸透しているように評価できる。</p> <p>*「進路を決めた時期」にみられる「満足度」は、進路を決めた時期が早ければ早いほど「満足度」が高い傾向にある事から、生徒の進路決定に効果的な指導を行ってきた成果が少しずつ現れているように評価できる。</p> <p>*生徒自ら将来の進路を見つけられるように、教職員が一丸となって生徒一人一人を親切、丁寧に、そして大事に指導されている点は大いに評価できる。</p>

遅刻数頭髪指導者集計・学校行事アンケートから結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>遅刻指導・身だしなみ等、各学年・生徒指導部中心に検査を実施してきた。</p> <p>数年前と比べると頭髪検査で指導も受ける割合は少なくなってきた。ポイント指導という本校独自のものも取り入れ一定の結果も出てきた。</p> <p>学校行事の生徒満足度も、十分なものだと考えられる。今年度は体育祭の会場を万博陸上競技場に変更した。</p> <p>クラブ活動活性化では、近年厳しい状況が続いていたが強化クラブも増え、硬式野球部が春季近畿地区大阪大会で準優勝を果たすなど公式戦で上位進出を果たすクラブも出て来た。また硬式野球部は新世紀を迎えた選抜高等学校野球大会で制定された「二十一世紀枠」大阪府代表校にも選ばれた。今後に期待したい。</p> <p>[分析]</p> <p>遅刻者数については数年前と比べると大幅に減少しているが、昨年度と比べると少し増えてしまった。</p> <p>生徒一人ひとりがより良い生活習慣を確立できるよう、ポイント指導等いろいろな本校独自の制度、対策に引き続き取り組む頃が必要と考える。</p> <p>学校行事は、参加して満足する生徒が年々増えてきている。マンネリ化を防ぐため、プログラムの見直し等を常に行っていく必要がある。</p>	<p>*生徒指導が充実し生徒への浸透も進んでいる点では評価できる。今後も生徒指導はこれで満足すること無く、その時代に合った生徒指導を今後も取り組んで欲しい。</p> <p>*クラブ活動活性化により近年の成績は評価できるが、今後も更なる指導や各クラブの活性化に期待したい。</p> <p>*学校行事は今後大きく変貌していくと考えられる為、本校独自の行事や取組を模索して、より良い行事を作り上げて頂けるよう、期待します。</p>

目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指針	自己評価
1 普通科総合選択制の更なる充実	生徒の学力向上に向けて	<p>AIによる個別学習システム「すらら」を9月より導入 英、数、国の選択科目の一部に導入し、学力の向上をはかる。</p> <p>①導入準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すらら」利用科目教科担当対象の研修の実施 ・初任教員への研修 ・旧サテライト講習受講生向けの試験導入（4月） ・保護者・生徒対象の説明会（6月） ・サマーセミナー(キャリアアップ)での試験導入（8月） ・「すらら」利用選択科目受講生徒へのガイダンス（9月） ・「すらら」利用生徒対象ガイダンス <p>②本年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すらら」利用選択科目での学習 ・「すらら」希望者の学習 <ul style="list-style-type: none"> *朝(月水金)放課後(火木金) *柔道部は部単位で学習した。 ・オープンキャンパスでの利用 <ul style="list-style-type: none"> *「すらら」体験コーナーの設置 *体験IDの配布 ・(就学・学習)支援生徒の学習保障・補完として 	<p>「すらら」の導入により、基礎学力の向上が見られるが、ICT化とも連動し生徒全員が「すらら」に向き合えるよう目指す。</p>	<p>①「すらら」利用選択科目での学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入の目玉コンテンツの一つにはなつたと考えられる。通常授業とは異なる取り組みのために、生徒の興味関心を引きやすいものとなった。 <p>問題点としてはICT環境の整備(誤作動などの問題)、教員との相性(「すらら」の性能、操作の慣熟度)生徒との相性(問題の難易度、説明のわかりやすさ、生徒のタブレット利用の慣熟度)などがあげられる。</p> <p>今後も本校で使いやすいものとなるよう、実践情報の共有など行う必要がある。</p> <p>②「すらら」利用(希望者)の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題配信を通して、学習を行った。本校の生徒の課外学習の少なさを補うための取り組みとして、一定の成果を上げることができた。 <p>しかしほとんどログインをしないまま年度末を迎えた生徒もいた。すらら主担や担任から指導も試みたが、十分に改善させることはできなかった。今後、配信する課題の見直しや担任の先生との連携を深めることで個々の生徒を指導するシステムを確立させる必要がある。</p> <p>③オープンキャンパスでの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の保護者には好評だった。
	選択科目の充実	生徒による普通科総合選択制についてのアンケートを実施し、教員の授業改善等の参考資料とする	アンケートで普通科総合選択制の理解度や、生徒各々が希望する進路に応じた授業選択または教員が生徒の能力に沿った授業を行えているか満足度で評価し、全ての項目で60ポイント以上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の満足度平均 70.7 (70.4) ・専科の満足度平均 69.2 (68.9) ・基礎教養の満足度平均 71.8 (71.6) ・2年次の選択授業満足度平均 69.3 (69.9) ・3年次の選択授業満足度平均 71.8 (71.0) <p>2年次の選択授業の満足度平均では昨年度より0.6ポイント下がっているが、全ての項目で目標数値60ポイント以上を大きく達成した。</p>

<p>エリア学習の実施</p> <p>①アドバンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校進学へ向けて進路意識の向上をめざす。 ・大学・専門学校受験に必要な学力養成をめざす。 ・大学・専門学校進学後も通用する学力養成をめざす。 <p>②キンダーアンドウェルフェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・福祉関係の仕事、進路への関心を実践的活動や講義を通して深めている。 <p>③アスリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツに必要な知識や理論を総合的に学び、アスリートとしてのスキルアップを図る。そしてスポーツを通じて、心身を鍛えんと共に、自己実現に向けて努力する生徒の育成をめざす。 <p>④キャリアアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な人間作りをめざす。 ・社会で生きていく力の育成 ・キャリア教育（主に就職領域）の充実 ・エリア学習公開の本格的な取り組み 	<p>隔週土曜日、「アスリート」「アドバンス」「キャリアアップ」「キンダーウェルフェア」に分かれ、それぞれのエリアに特化した授業を実施</p> <p>①アドバンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生の出張講義、大学の出前授業、適職ナビガイダンスの実施。 ・校内模試解説、進学講習、7限目講座の実施。 ・文章検定、漢字検定、英検などの講座の実施。 <p>②キンダーアンドウェルフェア</p> <p>②-1 キンダー領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭、保育士の資格取得に向けた進路への道筋をより具体的にイメージできるようにする。 ・子どもとの触れあいを中心とした体験実習を通してその資質全般の向上に努める。 <p>②-2 ウェルフェア領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護、リハビリなど様々な福祉全般の基礎的な知識と技能について広く学び、関心を深めていく。その後の進学、就職についてのイメージをより具体化できるようにする。 <p>③アスリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラブで技術講習を行った。 ・各クラブ共通の講座として「目標設定講座」を適宜、実施した。 <p>今年度より1限目からエリア学習を実施することが可能となったことで、活動場所や活動時間が広がるなどより細やかな指導をすることが可能となり、アスリートとしてのスキルアップ、戦績の向上に繋がったと感じている。また外部指導員に来てもらえるようになったクラブでは、違った視点からの指導や専門的なトレーニング指導を行うことができ、生徒たちにとって有意義なものとなった。</p> <p>④キャリアアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12～15名の少人数構成の班別講座の実施（班の担任制） ・各種講演会の実施 ・公務員対策講座の実施 ・定期考査対策講座の実施 ・サマーキャンプ、セミナーの実施 	<p>アンケートでエリア選択が進路と合致しているか満足度により評価。各エリア満足度 80%以上を目指す</p>	<p>エリア別満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス 64.4 (82.9) ・キンダーウェルフェア 81.0 (87.5) ・アスリート 81.6 (82.7) ・キャリアアップ 64.1 (65.5) <p>進路とエリアの一致</p> <p>それぞれのエリアで「ちょうど合っていた」「それなりに合っていた」と回答している者の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス 60.0 ・キンダーウェルフェア 77.8 ・アスリート 81.5 ・キャリアアップ 62.9 <p>昨年度と比べて、どのエリアもポイントを下げている。アドバンス、キャリアアップでは60ポイント代になっている。</p> <p>このアンケートは選択科目についてのもので、エリア学習を直接意識した回答になっていないことも一因として考えられる。今後、エリア学習を含めた学習に対する満足度を問うアンケートを作っていく必要がある。</p> <p>①アドバンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は前半に進路意識向上の講座を多く設け、後半に講習中心の学習を行った。生徒のアンケートの回答からも学力の向上に繋がったという声もあり、有意義な取り組みができたと言える。 来年度はより一層、生徒の個々の希望進路に沿うため、進学・受験講習を充実させる。 <p>②キンダーアンドウェルフェア</p> <p>キンダー、ウェルフェア共に、方針に沿った授業を生徒のモチベーションに合わせて展開できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルフェア領域ではグループでの調べ学習やプレゼンテーションなどを通して、学年を超えて一致団結することができた。ビジネスインターンシップでは入浴介助や食事の補助など普段の授業では学べないようなことが体験できた。 ・キンダー領域では1学期に附属幼稚園の園児と交流することにより7月の保育実習つなげることができ、より充実したものとするすることができた。 来年度は箕面学園保育福祉専門学校との連携をより密にし、7限目講座を充実させていきたい。 <p>④キャリアアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な班別学習や講演会を通して、様々な学びを提供することができた。 ・サマーキャンプでは生活力向上のための調理実習などを中心に取り組んだ。また理科実験など普段の学校生活ではできないようなことを体験させることができた。サマーセミナーでは「すらら」を利用して基礎学力の充実を図った。 ・来年度に向けて、少人数構成での取り組みについて、継続したい。生活に必須の「お金」にまつわる講座を充実
---	--	---	---

			<p>させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開の一環として中学校への出前授業をキャリアアップとして行いたい。 ・今年度のエリア学習の見学者は中学生、保護者、教員の合計で延べ95名だった。普段の学校の様子が分かったり、高校生と一緒に学べたと好評だった。来年度も多くの方に見ていただけるよう、企画、広報に努める。 														
学習習慣の形成	<p>毎朝、ホームルーム10分間で学年ごとに朝学習(英・国・数、ポートフォリオによる行事の振り返り)の課題に取り組んだ。</p> <p>10月末の読書週間では朝読書に取り組んだ。</p>	<p>朝学習に取り組むことで1限目の授業にスムーズに入れるなどの学習習慣の形成</p>	<p>数値化することは困難ではあるが、年々遅刻者も減少しているように少しずつではあるが習慣付けが来ている</p>														
進路別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・7限目授業 各々の進路に応じた授業(ピアノ講座、小論文講座、公務員対策講座、アドバンスエリア進学講習、福祉講座等)の実施 ・基本的に少人数指導で実施 	<p>基本的に希望者への個別指導で学習の向上を図る。小論文講座についてはテスト後の添削指導を実施</p>	<p>生徒、教員ともに継続への期待が高い。一層の充実を図る。</p>														
小論文指導	<p>文章作成能力の向上に向けて小論文指導を総合学習の中で行った。</p> <p>学年ごとに生徒を十数名の少人数班に分け、それぞれ決まった担当教員を付けて指導した。</p> <p>「学研教育みらい」の次の教材を用いた。</p> <p>1年 文章の書き方講座(計9回)</p> <p>2年 キャリアデザイン講座(計7回)</p> <p>3年 志望理由書講座(計4回)</p> <p>適宜放課後の補習も行った。</p>	<p>それぞれの教材に対応した小論文テストを生徒に受験させた。</p>	<p>1年生</p> <p>文章の書き方の基本を身につけさせることから始めたが、講座の中だけでは定着が薄かった。次年度に向けて朝学習で用いる学習教材を作成する。</p> <p>2年生</p> <p>志望理由など進路志望が未決定の生徒も多く、卒業生の志望理由書を例に挙げるなど、進路志望の決定に要する教材を別途用意した。</p> <p>3年生</p> <p>進路決定の時期と言うこともあり、多くの生徒が主体的に取り組んだ。</p> <p>各学年とも少人数の班編制にしたことで、きめ細かな指導ができた。</p>														
検定学習(漢検)	<p>漢検合格に向けての学習を総合学習の中で行った。</p>	<p>各学年で2回の漢検を生徒に受験させた。</p>	<p>漢字検定本年度合格者数</p> <table border="1"> <tr><td>準2級</td><td>4</td></tr> <tr><td>3級</td><td>13</td></tr> <tr><td>4級</td><td>46</td></tr> <tr><td>5級</td><td>103</td></tr> <tr><td>6級</td><td>60</td></tr> <tr><td>7級</td><td>49</td></tr> <tr><td>合格率</td><td>31%</td></tr> </table> <p>来年度については引き続き全体レベルの底上げを図るとともに上位級受験者の合格数を増加させることを目標としたい。そのために学習時間や回数の確保を図る。</p>	準2級	4	3級	13	4級	46	5級	103	6級	60	7級	49	合格率	31%
準2級	4																
3級	13																
4級	46																
5級	103																
6級	60																
7級	49																
合格率	31%																

目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指針	自己評価
2 生徒の規範意識を高め、基本的生活習慣の確立、服装、頭髪、マナーの向上	遅刻指導の徹底	毎朝、登校時に阪急箕面駅から学校までの通学路に教員が立ち、登校指導を行う。また、ポイント指導を取り入れ、遅刻数をポイント化し、ポイント数に応じた指導を行う	今年度の一日当たりの遅刻数を過去3年分の数と比較し、算出する	1日当たりの平均遅刻者数 平成29年度 26.5人 平成30年度 17.2人 令和元年度 19.9人 令和元年度は昨年度より1日当たりの遅刻者数が微増することとなった。 ・短期的目標 遅刻者数が増加しないよう、日々の指導を徹底する
	身だしなみの徹底	学期はじめ、定期考査中に頭髪服装検査を生徒指導担当、生徒指導専従により行い、改善が必要な生徒には、学年で徹底指導を行う。場合によっては、帰宅指導を行う	頭髪服装検査で頭髪指導数を過去3年分と比較し、年度平均数25%以下を目指す	(平成29年度)22% (平成30年度)18% (令和元年度)16% 令和元年度は昨年度に続き16%と目標数値25%以下を達成しており、指導数も減少している。しかし、夏期休暇、冬期休暇明けの始業式での頭髪服装検査では指導数が大幅に増加している。長期休暇前の指導を徹底する必要がある 長期的目標としては、昨年度にもあげたとおり10%~15%を目指す
	マナーの向上	毎朝、教員が通学路に立ち、あいさつ運動を行い、併せて生徒会でも定期的に行っている。校外清掃の実施。	教員、生徒会だけではなく、一般生徒も巻き込んであいさつ運動が出来るように引き続き取り組む	数値化は困難ではあるが、継続して行う。 近隣の方から「元気にあいさつしてくれる」など評価も受けている。
	講習会の実施	令和元年度 実施講習会 ・4月…スマホ・携帯電話安全講習会 ・5月…不審者に対する安全講習会(女子) ・6月…自転車指導講習会・食育講座 ・2月…薬物乱用防止講習会	講習内容によって、講習後の振り返りを行い、効果や理解の状況を把握している。	実施の効果が確認でき、今後も必要に応じて適宜講習を実施し、生徒の意識の涵養につとめる。

目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指針	自己評価
3 生徒自身の自主活動を充実させ、自律の精神を養う	学校行事の充実	<p>体育祭、文化祭など、生徒一人ひとりが魅力を感じる取組を行う。</p> <p>他校で行われているプログラムなどを参考にし、クラス単位、学年単位で“自分たちで作り上げる体育祭、文化祭”という意識づけを行う。</p> <p>学外施設を使う体育祭については実施内容を十分に検討し、準備・進行に問題が生じないよう努める。</p> <p>今年度修学旅行はセブ島への海外研修となった。現地の団体と協力して学習物資の支援ボランティアを行った。</p>	文化祭、体育祭は生徒向けアンケートを毎年実施しており、それぞれ肯定感 80%以上を目標にあげる	<p>文化祭 令和元年度 80%以上で目標達成である。 (88.4%)</p> <p>体育祭は生徒アンケートを取っておらず、数値化が困難。令和元年度は茨木万博競技場で行った。</p> <p>ボランティア活動は有意義なものとなった。取り組みのその後のつながりも継続する。</p>
	部活動活性化、加入率アップ	オープンキャンパスや新入生向け部活動紹介等をより充実させ、学校 HP、アスリートエリア紹介ビデオ（作成中）等を利用し、各部のアピールを行う	クラブ加入率 50%以上を目指す。	<p>平成 29 年度 43%</p> <p>平成 30 年度 48%</p> <p>令和 元年度 57%</p> <p>昨年度、一昨年度と比べると、加入率が上がっている。また目標数値 50%にも達成した。</p>
	生徒会活動の充実	<p>主な活動</p> <p>○学校における生徒の生活の改善と向上を図る活動</p> <p>○文化祭運営</p> <p>○ボランティア活動など社会参加に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施 ・オープンキャンパス運営補助 ・文化祭運営 ・ペットボトルキャップ回収 ・コンタクトレンズ空ケース回収 ・緑の羽根募金活動 ・箕面祭りボランティア参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日、本校正門で実施 ・文化祭満足度調査の結果、肯定感 80%以上 ・校内にそれぞれ専用 BOX を設置し、リサイクルで得た利益をワクチン購入費用等の目的で支援する団体へ次年度末に送付・寄付予定。引き続き行う。 ・令和元年度は 5 月と 9 月に校内で実施 15,544 円の募金が集まり、大阪の緑を育てる団体「大阪みどりのトラスト協会」に全額寄付。引き続き行う。 ・2 日間ボランティア スタッフとして、祭会場のゴミステーションで分別作業を行った。 次年度も参加予定。 	

3. 普通科総合選択制アンケートについて

第3学年生徒から学年末にアンケートをとり、普通科総合選択制についての現状を調査した。
ここでは、専科・基礎教養の授業評価について以下のように点数化し、「満足度」を計算した。

- 【方法】 ①たいへん効果があった = 100点 ②それなりに効果があった = 60点
③あまり効果がなかった = 30点 ④効果がなかった = 0点
⑤あまり覚えていない = 得点に含めない
それぞれの回答を点数化 → 平均 = 「満足度」(100%満点)とした。

【それぞれの平均点】

全体の「満足度」	70.7点	(昨年度70.4%)
専科の「満足度」	69.2点	(昨年度61.8%)
基礎教養の「満足度」	71.8点	(昨年度63.8%)
2年次の選択授業の「満足度」	69.3点	(昨年度61.1%)
3年次の選択授業の「満足度」	71.8点	(昨年度64.3%)

《体験実習講座》

1年次の体験実習講座について、自分の進路選択に効果がありましたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④全然効果がなかった	⑤あまり覚えていない
26.0%	38.5%	11.5%	9.4%	14.6%

《資格検定講座》

意欲的に取り組みましたか？

①たいへん意欲的に取り組んだ	②それなりに取り組んだ	③あまり意欲的に取り組めなかつた	④全然取り組まなかつた
18.8%	51.0%	16.7%	13.5%

《選択科目》

「選択の基準」にみられる「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①進路	72.4%	78.4%	76.9%	76.4%	76.6%
②興味関心	76.4%	79.4%	77.6%	78.5%	78.1%
③エリア	75.9%	77.2%	71.8%	80.2%	76.6%
④難易度	66.2%	65.7%	65.3%	66.5%	66.0%
⑤シラバス	77.6%	84.3%	73.5%	87.4%	81.4%
⑥考査の有無	—	—	—	—	—
⑦友人と同じ	58.9%	56.3%	56.4%	58.1%	57.4%
⑧先生の勧め	43.0%	57.0%	50.5%	51.4%	51.0%
⑨楽したい	58.6%	59.8%	64.0%	55.7%	59.3%

《専科・基礎教養》

【専科Ⅰ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④全然効果がなかった
39.6%	40.6%	11.5%	8.3%

B 自分が興味・関心をもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心をもてた	②それなりに興味・関心をもてた	③あまり興味・関心をもてなかつた	④全然興味・関心をもてなかつた
42.7%	38.5%	12.5%	6.3%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④全然合っていなかった
51.0%	35.4%	6.3%	7.3%

【基礎教養Ⅰ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④全然効果がなかった
39.6%	39.6%	11.5%	9.4%

B 自分が興味・関心をもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心をもてた	②それなりに興味・関心をもてた	③あまり興味・関心をもてなかつた	④全然興味・関心をもてなかつた
40.6%	36.5%	15.6%	7.3%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④全然合っていなかった
39.6%	38.5%	13.5%	8.3%

【基礎教養Ⅱ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④全然効果がなかった
44.8%	39.6%	7.3%	8.3%

B 自分が興味・関心をもてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心をもてた	②それなりに興味・関心をもてた	③あまり興味・関心をもてなかつた	④全然興味・関心をもてなかつた
42.7%	35.4%	15.6%	6.3%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④全然合っていなかった
49.0%	32.3%	12.5%	6.3%

【専科Ⅱ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
45.8%	32.3%	15.6%	6.3%

B 自分が興味・関心もてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心もてた	②それなりに興味・関心もてた	③あまり興味・関心もてなかつた	④興味・関心もてなかつた
44.8%	33.3%	14.6%	7.3%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④合っていなかった
45.8%	34.4%	11.5%	8.3%

【専科Ⅲ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
40.6%	34.4%	16.7%	8.3%

B 自分が興味・関心もてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心もてた	②それなりに興味・関心もてた	③あまり興味・関心もてなかつた	④興味・関心もてなかつた
39.6%	37.5%	17.7%	5.2%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④合っていなかった
43.8%	36.5%	12.5%	7.3%

【基礎教養Ⅲ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかった	④効果がなかった
50.0%	36.5%	7.3%	6.3%

B 自分が興味・関心もてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心もてた	②それなりに興味・関心もてた	③あまり興味・関心もてなかつた	④興味・関心もてなかつた
46.9%	37.5%	10.4%	5.2%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④合っていなかった
50.0%	36.5%	8.3%	5.2%

【基礎教養Ⅳ】について

A 自分の進路選択や進路のための学習に有効でしたか？

①たいへん効果があった	②それなりに効果があった	③あまり効果がなかつた	④効果がなかつた
54.2%	35.4%	4.2%	6.3%

B 自分が興味・関心もてる学習内容でしたか？

①たいへん興味・関心もてた	②それなりに興味・関心もてた	③あまり興味・関心もてなかつた	④興味・関心もてなかつた
52.1%	33.3%	9.4%	5.2%

C 授業の難易度は自分に合っていましたか？

①ちょうど合っていた	②それなりに合っていた	③あまり合っていなかった	④合っていなかった
54.2%	34.4%	6.3%	5.2%

専科・基礎教養の内訳

	A (進路)	B (興味関心)	C (難易度)
専科Ⅰ	67.4%	69.6%	74.2%
専科Ⅱ	69.9%	69.2%	69.9%
専科Ⅲ	66.3%	67.4%	69.4%
専科平均	67.8%	68.7%	71.1%
基礎教養Ⅰ	66.8%	67.2%	66.8%
基礎教養Ⅱ	70.7%	68.6%	72.1%
基礎教養Ⅲ	74.1%	72.5%	74.4%
基礎教養Ⅳ	76.7%	74.9%	76.7%
基礎教養平均	72.1%	70.8%	72.5%

●自分の進路について真剣に考え始めたのはいつ頃ですか？

1年生前半	1年生後半	2年生前半	2年生後半	3年生前半	3年生後半	まだ考えていない
13.5%	10.4%	14.6%	20.8%	32.3%	2.1%	2.1%

「進路を決めた時期」にみられる「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①1年生前半	77.8%	79.2%	77.1%	79.7%	78.6%
②1年生後半	75.5%	71.0%	68.8%	76.0%	72.9%
③2年生前半	76.1%	79.1%	75.6%	79.5%	77.8%
④2年生後半	68.3%	72.4%	69.8%	71.2%	70.6%
⑤3年生前半	59.6%	64.9%	61.8%	63.3%	62.7%
⑥3年生後半	100%	100%	100%	100%	100%
⑦進路未定	33.4%	36.7%	33.4%	36.7%	35.3%

<考察>

進路を決めた時期が早いほど「満足度」が高い傾向にある。②・④で「満足度」が下がってしまうのは、選択科目の本調査の時期との関連ではないかと考えられる。なお、⑥・⑦については、それぞれ該当生徒が2名であるため、傾向と反した結果となっている。

●「進路とエリアの合致」にみられる「満足度」

選択科目別の「満足度」

	専科	基礎教養	2年次	3年次	全体
①ちょうど合っていた	83.2%	84.3%	82.3%	85.0%	83.8%
②それなりに合っていた	72.1%	74.2%	71.5%	74.6%	73.3%
③あまり合っていなかった	51.5%	60.0%	54.8%	57.5%	56.3%
④全然合っていなかった	45.2%	53.0%	47.7%	51.1%	49.7%
⑤わからない	56.0%	54.6%	56.0%	54.6%	55.2%

エリア別でみた合致の割合

	アスリート	アドバンス	キャリア	キンダー	ウェルフェア
①ちょうど合っていた	63.0%	16.0%	29.4%	100%	20.0%
②それなりに合っていた	18.5%	44.0%	35.3%	0%	40.0%
③あまり合っていなかった	0%	16.0%	5.9%	0%	0%
④全然合っていなかった	18.5%	20.0%	11.8%	0%	0%
⑤わからない	0%	4.0%	17.6%	0%	

<考察>

進路とエリアが合致していた者ほど「満足度」が高い結果となった。

ただ、③・④を選択した者のうち、実際の進路とエリアの不一致はほとんど起こっておらず、土曜エリア学習の欠席者が多いことから、エリア意識が希薄な生徒が③・④を選択したのではないかと考えられる。